「心躍る」を解き放つ HIS

月次業績速報（改訂版）
2022/12/28

2022 年 11 月　旅行取扱高状況報告

＜ 旅行区分別 ＞　　（単位：千円）

区　　分	取 扱 高	前年度同月取扱高	前年度同月比	2019 年度同月取扱高	2019 年度同月比
海外旅行	7,902,724	723,172	1,092.8%	29,691,580	26.6%
国内旅行	5,176,369	2,988,066	173.2%	4,332,137	119.5%
訪日旅行	231,470	15,564	1,487.1%	2,475,564	9.4%
合　計	13,310,563	3,726,803	357.2%	36,499,281	36.5%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準での取扱高合計となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年度同月比（2018 年 11 月）を記載しております。

1．海外旅行

ビザ免除が再開した韓国が送客数全体の 3 割を占めるなど、10 月に続き牽引いたしました。また、11 月の大きな変化として、7 日間の自主防疫を必要とするものの観光・ビジネス目的の入国が可能となった台湾が、送客数で先月比 230%を示すなど、入国制限緩和により渡航需要の再開がみられました。パッケージツアーにおいては、韓国・ハワイをはじめ、添乗員同行ツアーのヨーロッパ方面など、レジャー需要が動きはじめております。しかしながら、燃油サーチャージの高騰や歴史的な円安、日本発着における国際線航空座席供給数の回復鈍化もあり、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、海外旅行の取扱高は、前年度同月比 1,092.8%、2019 年度同月比 26.6%の 79 億 272 万円となりました。

2．国内旅行

「全国旅行支援」による国内旅行のマインドの高まりを受け、2 ヶ月連続で 2019 年同月比を上回る取扱高となりました。冬場の市場においても沖縄の人気が高く、LeaLea サービス（シャトルバス・ラウンジ）と美らバス 1 日観光による自社のオリジナルコンテンツで差別化を図るとともに、北海道のスキーツアー商品など送客数を牽引いたしました。また、ホテルの仕入れ強化により募集型宿泊プランの充実を図ったことから、ホテル手配の取扱高が、前年度同月比で 440%となるなど、取扱高における更なる積み上げに寄与いたしました。

以上の結果、国内旅行の取扱高は、前年度同月比 173.2%、2019 年度同月比 119.5%の 51 億 7,636 万円となりました。

3．訪日旅行

新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和と、円安の追い風を受け、タイやベトナムからのツアー受客が動き出しております。また、訪日個人旅行者にむけた着地後の観光として、富士・箱根や北海道旭山動物園を目的地とした自社主催の日帰りバスツアーなどが、欧米からの顧客を中心に好調に推移いたしました。しかしながら、引き続き中国からの受客が戻っておらず、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、訪日旅行の取扱高は、前年度同月比 1,487.1%、2019 年度同月比 9.4%の 2 億 3,147 万円となりました。

2022 年 11 月の取扱高総計は、前年度同月比 357.2%、2019 年度同月比 36.5%の 133 億 1,056 万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社エイチ・アイ・エス　　Ｉ R室：050-1746-4188
広報室：050-1746-4177